



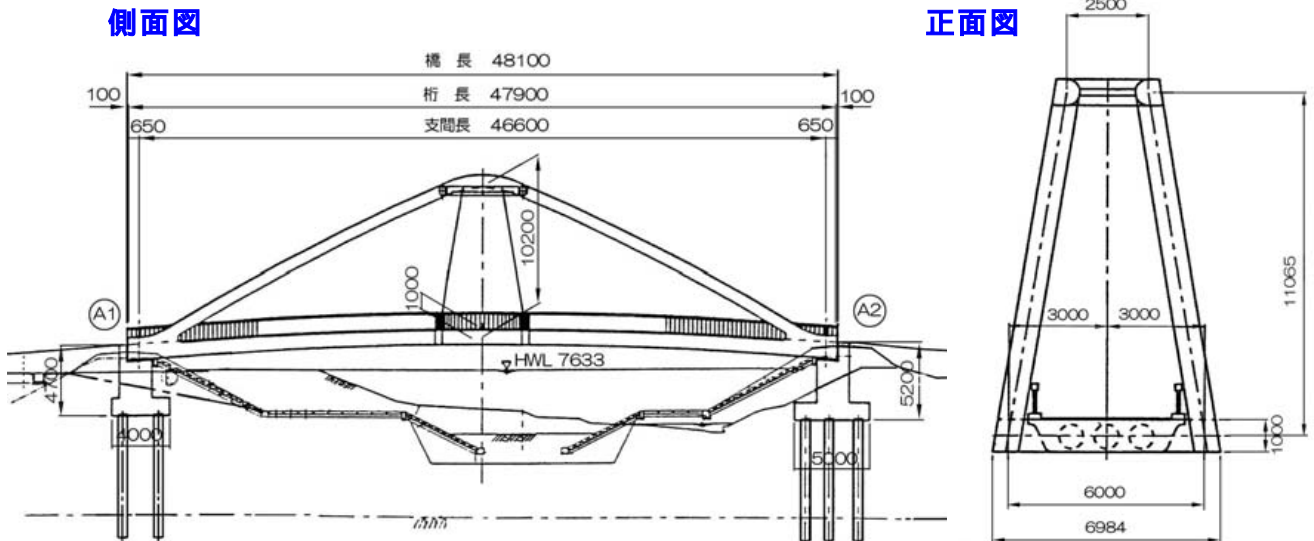
はまさきくろめばし 浜崎黒目橋

浜崎黒目橋は、朝霞市を流れる黒目川に架橋された橋長 48.1mのPC中空床版アーチ橋です。

アーチ軸線の適切な設定により、アーチ部材を薄くし経済性が向上されています。また単純桁構造の採用と内向したアーチ形状の採用により耐震性が向上されています。



一般図



橋梁諸元

工事名：浜崎黒目歩道橋架設工事（上部工）
 発注者：朝霞市
 設計者：新構造技術㈱
 位置：埼玉県朝霞市大字浜崎・溝沼地先
 道路規格：歩道橋
 形式：PC中空床版アーチ橋
 荷重：群集荷重：3.5kN/m²
 橋長：48.1m
 有効幅員：4.0m（中央部にφ7.8mの円形バルコニー配置）
 ライズ：10.2m
 PC鋼材：主桁鋼材 SWPR 7B 7S12.7（SEEE PAC 工法）
 吊り材 19S 10.8A F230PH（SEEE 工法）

設計概要

1) アーチの設計

アーチ部材をスレンダーにするために、アーチ軸線を1.1次曲線に設定して、荷重による曲げモーメントがほとんど作用しないようにされています。

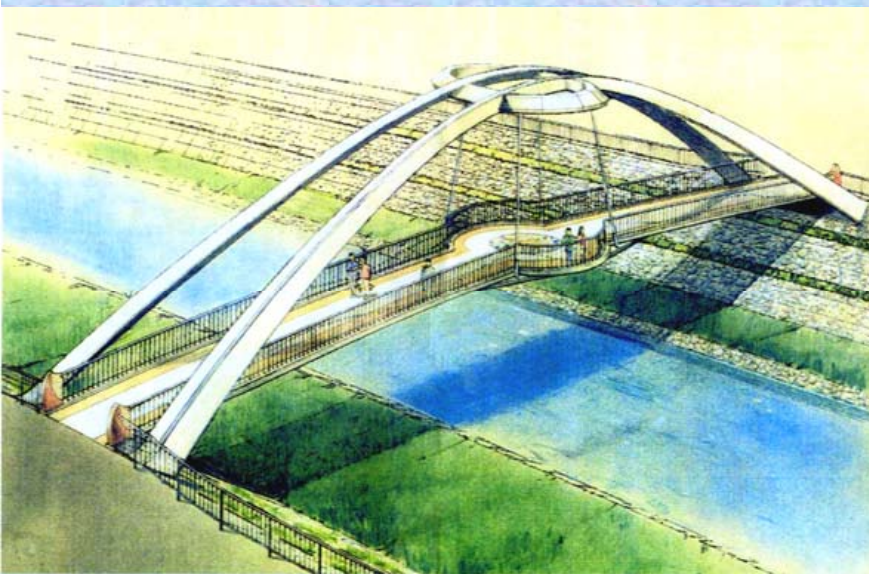
アーチ部材をプレキャスト化して、施工性の改善と工期の短縮が図られています。

2) 耐震設計

アーチ形式をランガー形式として、主桁とアーチリブを剛結した単純桁構造とすることにより、下部工に水平反力が作用しないようにされています。

アーチ形状をバスケットハンドルタイプとして、面外の耐震性が向上されています。

反力分散支承を採用し、面内の耐震性が向上されています。



工程表

	平成10年 8月	9月	10月	11月	12月	平成11年 1月	2月
準備工	■	■	■				
主桁製作工				■	■	■	
アーチ部桁製作工			■	■	■		
アーチ部材運搬架設工					■		
主桁吊材ケーブル工					■		
橋面工						■	■